

令和4年度第2回神岡地域協議会会議録

令和4年 7月14日

神岡地域協議会

令和4年度第2回神岡地域協議会会議録目次

| | |
|-----------------|----|
| ■開催日時 | 1 |
| ■開催場所 | 1 |
| ■出席委員 | 1 |
| ■欠席委員 | 1 |
| ■出席職員 | 1 |
| ■次第 | 1 |
| ■開会 | 2 |
| ■会長あいさつ | 2 |
| ■支所長あいさつ | 2 |
| ■会議録署名委員の指名について | 3 |
| ■ワークショップ | 3 |
| ■案件 | |
| ・地域枠予算活用事業について | 5 |
| ■その他 | 9 |
| ■閉会 | 9 |
| ■署名 | 10 |

令和4年度 第2回神岡地域協議会 会議録

■日 時：令和4年7月14日（木） 午後1時30分

■会 場：神岡農村環境改善センター 多目的大ホール

■出席委員：8名

工藤容子、齊藤 劦、齊藤 亘、佐藤和彦、
鈴木幸一、高橋しげ子、高橋 保、中村淑子

■欠席委員：6名

太田久美子、今 真 弓、今野由美子、佐々木尚美、
高橋尚子、高橋 昇

■オブザーバー：1名

佐々木 宮 廣（神岡地区自治会連合会長）

■出席職員：6名

伊藤直樹（神岡支所長）
大野 暁 佳（市民サービス課長）
渡 邊 一 光（農林建設課長）
齊藤浩志（神岡中央公民館長）
舛谷恵理子（地域活性化推進室 参事）
佐藤 孝（地域活性化推進室 主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名について
- 5 ワークショップ
- 6 案 件
 - ・地域枠予算活用事業について
- 7 その他
- 8 閉 会

(午後1時30分 開会)

○大野市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

本日は、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。
ただ今から、令和4年度第2回神岡地域協議会を始めさせていただきます。
はじめに、齊藤会長よりごあいさつをいただきます。

○齊藤神岡地域協議会会長（以下「会長」と表記）

皆さんこんにちは。連日、暑い中でのご参加をいただきありがとうございます。6月の中盤から少し寒かったので、7月に入ってからの暑さが身に染みるように感じます。この暑い中、皆さん神岡地域を盛り上げるために日々活躍されていること、本当に感謝申し上げます。今後とも地域協議会委員として、神岡のために、大仙市のためにもどうぞよろしくお願ひしたいと思います。

いつもは会議室ですが、やっとこの会を再開することができました。大変お待たせしました。今日はNPOセンターの八嶋さん、奥さん、今さんを久々にお招きして、神岡地域協議会ワークショップ～中学生と考える神岡の未来～ということで再開させていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

私は、たまたま、このようなあいさつをさせていただくことがあるんですけども、神岡の良いところを紹介してくださいとよく言われます。この前、ラジオでもちょっとお話しさせていただきましたが、この場所、嶽雄館を中心としたエリアは、文教エリアという括りで色々な施設があります。それで、その時に私は、この場所をモデルコンパクトシティとして紹介させていただいております。どういう感じかと言いますと、まずは出会いの場があります。テニスで知り合うも良いでしょう。プールで知り合うも良いでしょう。公園で知り合うも良いでしょう。出会い、結ばれ、生活の場として嶽ビュータウンがあります。近くには最近、食品も売っているドラッグストアができました。疲れた時には嶽の湯さんに行って癒し、お食事を楽しむといった楽しみがあります。生活が始まり、子どもが生まれると、すくすくだけっこ園が歩いて行ける場所にあります。小学校は少し遠いですが、中学校があります。10分歩かないうちに神岡診療所もあります。愛幸園さんのお世話になることもあるかもしれません。そして墓地公園という場所もありますので、一生このエリアで暮らせると。情報は今たくさんございますから、コンパクトシティとして大変モデル的な地区だと私は考えて、他の地域の方に自慢話をさせていただいているところでございます。

そういったお話も、今日はあるかないかはわかりませんが、そういったところを皆で話し合いながら、今後の、未来の神岡が良き神岡でありますように、どうかディスカッションを活発にお願いしたいなと思っておりますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

○市民サービス課長

ありがとうございました。続きまして、伊藤支所長よりごあいさつを申し上げます。

○伊藤神岡支所長（以下「支所長」と表記）

支所長の伊藤と申します。よろしくお願ひします。

本日は、第2回目の神岡地域協議会ということで、お集まりいただきましてありがとうございます。そしてですね、先程もお話が出ましたけども、今日はワークショップということで、平和中学校の生徒さんにも参加していただいておりますけども、実は今回ワークショップをなぞ

やるのかと言いますと、今、大仙市では「彩色千輪プロジェクト」と言っ、彩色千輪というのは花火の種類なんですけども、一発上がると小さい花火がいっぱい咲く花火玉なんですけども、あれになぞらえまして、大仙市内の各地域がそれぞれ花を咲かせて一つの大きな花になるという感じのプロジェクトを、各地域で進めているところです。各地域で拠点を立ててやっていこうということなんですけども、神岡地域につきましては「道の駅かみおか」を拠点にしていこうというような方針になっておりますので、神岡の未来につきまして、皆さんで色々な意見などを出していただければなと思っておりますので、今日はどうぞよろしくお願いたします。以上です。

○市民サービス課長

この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、齊藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは会議を始めます。

本日は、太田久美子委員、今真弓委員、今野由美子委員、佐々木尚美委員、高橋尚子委員、高橋昇委員より欠席の届が出されておりますが、委員の2分の1以上の出席がございますので、会議は成立していることをご報告申し上げます。

次に、会議録署名委員を指名いたします。会議録署名委員は2番工藤容子委員と5番齊藤碯委員にお願いします。

それでは、ワークショップに入らせていただきます。

はじめに、今日のコーディネーターの方を支所長よりご紹介いただきます。

○支所長

それではご紹介いたします。

本日のワークショップの講師としてお越しいただきました、県南NPOセンター理事の八嶋英樹様です。同じく、コーディネーターの奥ちひろ様です。同じく今拓也様です。

それでは、ワークショップの進行をお願いいたします。

○会長

改めまして、平和中学校の皆さんのご協力に、とてもありがたく思っております。今日はよろしくお願いたします。

○八嶋理事

それでは、ここからは私達、秋田県南NPOセンターの方で進めてまいりたいと思います。

【ワークショップ】

■ワークショップのねらい

- ・神岡を賑わいのある地域にする。
- ・「道の駅かみおか」に人を呼び込むためのアイデア、道の駅を拠点とした地域活性化について考える。

■グループ内自己紹介

■ワーク①それぞれがなってほしい未来の神岡

10年後、人の繋がりや伝統文化、公共施設、観光資源、イベント、教育、福祉、農林業、商工業、産業等はどうなっていたら良いかについて考える。

■ワーク②10年後の未来のために神岡に必要なこと

夢のある未来に向かうため、誰がどんな仕掛けをしていったら良いか、どんな手段が必要かを考える。

■全体共有とまとめ

〈なっていてほしい未来の神岡〉

- ・高齢者の暮らしが支援されている、若い人達にとっても魅力的であるなど、今、暮らしている人達が暮らしやすい地域。
- ・外に出たとしても、帰って来たいと思えるまちづくり。
- ・皆が活躍している神岡。地域のお祭りや暮らしを支える部分など、色んなところに皆の活躍が関わってくる。
- ・人を呼び込むためには観光スポットがあった方が良い。それによって、県外から来る人だけでなく、地元の人々の暮らしも楽しくさせることができる。
- ・集いの場がある。
- ・今の暮らしが心地良いので、現状を維持したい。

〈上記を実現するために必要だと思われること〉

- ・教育や福祉の充実
- ・地域の繋がりをつくるための町民体育祭の復活や、人が集まるプロジェクションマッピングの実施。
- ・学生と企業のタイアップによる、コラボ商品等の企画。
- ・公共施設をより良くすることを考えていく。
- ・地域に興味を持ってもらうためのPR。
- ・リーダーの育成。
- ・財源を増やす。

○事務局（地域活性化推進室）

皆さん大変お疲れ様でした。第1回目のワークショップは以上で終了となります。次回は8月を予定しておりますが、詳しい日程の方は追ってお知らせいたします。よろしく願いいたします。ここで、5分間の休憩を取りまして、地域予算活用事業の説明に入ります。

コーディネーターと中学生の皆さんはここで退出となります。大変お疲れ様でした。今一度、大きな拍手をお願いいたします。

(休憩)

○会長

ワークショップ大変お疲れ様でした。

それで、は会議を再開したいと思います。次第の6から再開したいと思いますので、よ

ろしくお願いいたします。

それでは、地域予算活用事業についての説明を事務局よりお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【資料 No. 1－1 及び No. 1－2 に基づき説明】

行政主導型

・地域環境整備事業

事業の目的：神岡地域内の草刈りを行い、利用環境の向上や、地域の名所・憩いの場の背整備を図る。

事業費：494,208円

・神岡中央公園花壇整備事業

事業の目的：神岡中央公園は家族連れやこども園、小学校等の利用が多い公園であり、市の事業でも利用を予定している。多くの人が集う公園に季節の花を植栽することで、利用者や付近を通行する方々の目を楽しませるとともに、環境美化意識の向上を図る。

事業費：220,000円

・神岡地域ワークショップ事業

事業の目的：神岡を賑わいのある地域にするため、地域協議会委員と中学生によるワークショップにより地域の魅力や資源等の掘り起こしと、「道の駅かみおか」の活用方法について意見交換を行い、地域を元気にするための事業提案へ繋げる。

事業費：218,815円

市民協働型

・自治活動拠点整備事業

事業の目的：地区の活動拠点施設の整備を行い、住民活動の活発化に繋げる。

申請者：八石部落会

申請額：105,380円

・2地域（神岡小学校・平和中学校）整備事業

事業の目的：地域と学校が連携し、神岡小学校と平和中学校の花壇づくりをすることによって、地域交流の輪を広げるとともに、地域の環境美化に資する。

申請者：神岡地域花壇連絡協議会

申請額：331,590円

・自治会連合会組織支援事業

事業の目的：住民との連携を図りつつ、清潔で美しく、安心・安全な地域のため、住民と行政による協働のまちづくりを目指し、組織のさらなる強化と事業の充実を図る。

申請者：神岡地区自治会連合会

申請額：338,400円

○会長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様からご意見、ご質問をお受けしたいと思えます。

皆さんが考えている間に、私から一点よろしいでしょうか。行政主導型の神岡地域ワークショップ事業ですけれども、先程、事務局の方にも少し相談をさせていただきましたが、この間、神岡小学校の学校評議員会がございまして、その時に受けた情報と言いますか、学校から伺ったことなんですけれども、3年生から6年生まで地域再発見という授業をやっているそうです。それを伺った時に、私たちのこのワークショップにマッチングしているなという感じがしまして、できれば次回から、来ていただけるのであれば小学生も入っていただいて、日頃勉強されていることを一緒にディスカッションできればなと考えたところでした。伺ったところによると、支所長さんから校長先生にも彩色千輪プロジェクトのお話をされていたということで、大変タイミングの良い話かなと思っています。ちょっと、事務局と支所長とでご相談いただいて、可能であれば小学校の方にも相談を持ち掛けていただけないでしょうか。

○支所長

わかりました。

○会長

皆さんどうですか。もし可能であれば小学生も、1テーブル1人くらいの人数で良いかと思えますけれども、次回も今日みたいな形態かはわかりませんが、彩色千輪プロジェクトに繋がっていきけるような気がしますので、こういう会議をしているというところを見せられれば、いい機会になるかなと考えたところです。よろしくお願いします。

○支所長

学校さんの方ともお話ししてみたいと思います。

○会長

ほかに何かございませんか。

○齊藤勲委員

ワークショップの2回目、3回目は大体いつ頃を予定していますか。

○事務局（地域活性化推進室）

8月は、18日が中学校さんで都合が良いようなんですけれども、県南NPOセンターのコーディネーターさんの方が、戻らないとわからないということで、まず、その日にできればと思っております。そこを逃すと、中学校さんの方では9月の初めの週まで学校行事で都合が合わないようですので、18日にできればやりたいと思っておりますが、もしコーディネーターの都合が悪くなると、9月の中旬頃になるということもあるかと思われれます。

○会長

行政主導型については、新規はこれ1件だけです。

ほかにございませんか。

○佐々木自治会連合会会長

このワークショップを3回やって、何かデータとかそういったものは出すんですか。

○事務局（地域活性化推進室）

はい、その通りです。

○会長

いずれは、彩色千輪プロジェクトの方に繋がっていくことになるかと思えます。

最初に支所長がおっしゃったように、各地域の活性化をするためのプロジェクトが大仙市でやられていますので、その流れで今のワークショップを始めました。神岡は、道の駅を拠点とした地域づくりを考えることとしていますので、そのために何をしたら良いのか、どういったことが考えられるかということの第一歩が、今日のワークショップと考えていただければよろしいかと思えます。

○佐藤和彦委員

道の駅を拠点としてやっていくということですよ。道の駅の駅長さんとかはこれに参加する予定はないですか。道の駅の従業員さんにもアンケートだけはやっていて、その結果は伝わっていないようだったので。こちらだけでやるのではなく、向こうの方にもきっちりと伝えないといけないのかなと思ひまして。

○会長

いずれ、道の駅に関しては外からお客さんをお呼び込むのか、神岡地域住民が集う場所とするのか、それが今のワークショップが進んでいけば、うっすらとでも見えてくるのではないかなと感じています。その後で、必要であれば駅長なり、ふるさと振興公社の方に連絡することになるかと思ひます。

○齊藤劭委員

いつ頃にその大規模改修を行う予定ですか。

○支所長

今の時点では、改修をするのかどうか、どのくらいの規模になるのかというのは、全く決まっていない状況です。ただ、もし改修が可能であるとすれば、国交省さんの方からもご協力ももらって一緒に整備していく関係で、今、国交省さんの方では道の駅おがちの方をやっていきます。そちらが終わって、次に取り掛かれるのが早くても令和8年と聞いております。ただ、国の予算要求のスケジュールなどもありますので、令和8年度から取り掛かるとなると、令和6年度中には基本的な設計ができていなければいけなくて、そのためには令和5年度中に方向性を決めなければいけないということで、意外と時間はない状況です。ですので、できるかどうかは別として、最速で8年度着工ということですよ。

○齊藤劭委員

国土交通省と大仙市の費用分担割合のようなものはあるんですか。

○支所長

実際にやってみないとわからないですが、国交省さんの方で基本的にやるのは、車がこのくらい通るからそれに見合った台数の駐車場を整備するですとか、国交省さんがやるべき部分というものがあるので、出来上がった計画の中で、国交省さんの領分がこれくらいというのは、そこで見極めることになります。割合が決まっているというわけではありません。

○齊藤勲委員

あちこちに道の駅がありますけど、駐車場も含めて敷地全体が小さいじゃないですか。なので、土地を買い上げて広げるとかしかないじゃないですか。そうなると多額な改装費がかかると思うけど、そこまで考えてやってくれるのかというのがありますし。

○支所長

そうですね。結構かかりそうですね。田んぼに比べて道の駅の地盤というのがかなり高いので、単純に買えばいいというわけではなくて、土盛りをしてなどとなるとかなりかかると思うので、予算が工面できるのかというのがあります。

○齊藤勲委員

広いところだと、駐車場から出る時も走りながら割り込んでいけるような駐車場じゃないですか。そういう、入りやすく出やすいような、それによっても寄っていくかどうかという感じになるだろうから、そういう寄りやすいように造り直すとか。

○支所長

それも含めて、今はある程度、さっき言ったような外から人を呼ぶのか、地域で活用していくのかというような方向性を決めながら、次の段階で国交省さんとか、道の駅の駅長さんとか、働いている人とか、三セクの方とか、あとは地域住民とか色んな人達に集まってもらって、どんなのがいいかという話し合いをしていくので、そこで具体的なものを出して、できるかどうかすり合わせを行っていくことになるかと思います。そういうところのご要望については、また次の段階で伺っていきますので。

○鈴木幸一委員

そうすれば、営業しながら改修を行っていくものですか。

○支所長

そのあたりも改修の計画次第ですけれども、閉鎖して他のところで開業をしてというやり方をした道の駅もありますし、改修内容によるところもありますので、今の時点ではわからないところですよ。

○会長

今は地域協議会の中だけの話題になっていて、方向性とかを考えるわけですけど、道の駅は地域の物という考えからすると、最低でも神岡地域住民のパブリックコメントみたいなものはないとダメなのではないでしょうか。支所長の話のようにタイトなスケジュールなのであれば、早い段階でそれをやらないと、後々、私達だけでやったというようなことになって困ります

ので。あとは、たたき台みたいなものを地域協議会として提案して、その報告も兼ねてパブリックコメントを受けるといった形にしないといけないのかなと思います。我々だけでは済まされない部分というのが出てくると思いますので。

○支所長

今のところ地域協議会のほかに、道の駅をやっている三セクと、直売所をやっている人達の意見も聞いておりますし、これから、利用している人達のアンケートは予定しております。そういう意見を合わせまして、最終的に、どういう形になるかはわかりませんが住民の方々の意見も何う形にはなるのかなと思っております。

やはり、住民の方々はもちろんなんですけれども、道の駅ですので、利用する方々のための施設でもあるので、そちらの方も大切にしないといけないなと思っているところです。

○会長

ほかに何か、地域予算事業についてご意見ございませんか。

(意見なし)

今年度も何とか新規が増えて、あるお金が使えるだけ使えるように、自治会さんの方も活発な活動をお願いします。

ほかになれば、その他の方に移らせていただきます。それでは、事務局の方からお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

中央公園の花壇の植栽ですが、天気を見てになりますが、23日、24日のどちらかか、その次の土・日のどちらかに行いたいと考えています。

○会長

決めて連絡していただければ。

○事務局（地域活性化推進室）

はい。多分、電話でご連絡する形になるかと思います。

○会長

ご協力いただける方はよろしく申し上げます。

委員の皆さんからは何かございませんか。

(意見なし)

それでは、なければ今日の協議は全て終了とさせていただきます。長時間ご協力ありがとうございました。

(16時15分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
